

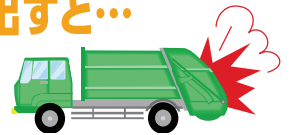
火災防止にご協力ください

ごみの出し方の
の注意点
P.1~7

- カセットボンベ・ガスライター・スプレー缶は、中身を使い切って発火性・有害ごみの「発火性危険ごみ」で出してください。
フタは、はずして「不燃物」または「容器包装プラスチック」で出してください。
※ガスが残った品物を回収した場合、収集車内でガスが漏れ火災の原因になります。
- 乾電池・ボタン電池・リチウム電池は、色付きテープなどで絶縁し、発火性・有害ごみの「電池」で出してください。
※電池の電極同士が触れ合うと電気が発生し、火災の原因になります。
- ゲーム機、電気かみそり、電動歯ブラシ、電子たばこ、モバイルバッテリーなどは発火性危険ごみの「電池のほずせない小型家電・充電式小型家電」で出してください。
※収集時に壊れて発火し、火災の原因になります。

もし、「発火性危険ごみ」、「電池」、「電池の外せない小型家電・充電式小型家電」を分別しないままごみステーションに出すと…

収集車内でのガス漏れや電池の破裂が火災の原因になり、大変危険です!



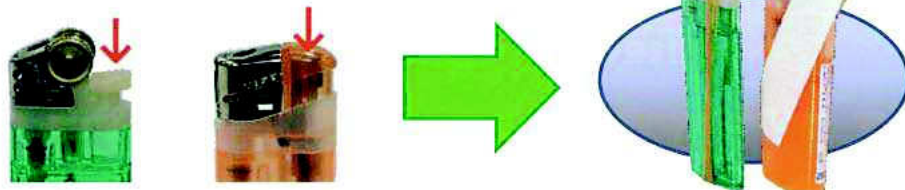
カセットボンベ・スプレー缶・ガスライターは、必ず中身の ガスを **使い切って** 出しましょう



※中身を使い切れれば、穴を開ける必要はありません。ガスが残った状態で穴を開けると、破裂・発火の危険があります。

■ガスの抜き方の例

(注)火の気のないことを確認し、風通しのよい屋外で行いましょう。



- ①周囲に**火の気のない**ことを確認してください。
- ②操作レバーを押し下げてください。着火した場合はすぐに吹き消してください。
- ③輪ゴムや粘着力の強いテープで、操作レバーを押し下げたまま固定してください。
- ④「シュー」という音が聞こえれば、ガスが抜けています。聞こえない場合は炎調節レバーをプラス方向いっぱい動かしてください。
- ⑤この状態のまま付近に**火の気のない、風通しのよい屋外**に1日置いてください。
- ⑥確認のために着火操作をして、火が着かなければ、ガス抜きは完了です。

(参考:一般社団法人日本喫煙具協会HP <http://www.jsaca.or.jp>)